

凸版印刷、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社

「株式会社アールプラスジャパン」に出資

業界を超えた12社による共同出資会社

米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、
環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化技術の開発に参画

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社、東洋紡株式会社、レンゴー株式会社、東洋製罐グループホールディングス株式会社、J&T 環境株式会社、アサヒグループホールディングス株式会社、岩谷産業株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社フジシール、北海製罐株式会社、株式会社吉野工業所、のプラスチックのバリューチェーンを構成する12社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン(本社:東京都港区、代表取締役社長:横井 恒彦、以下 アールプラスジャパン)を設立し、6月から事業を開始しました。

今後もアールプラスジャパンは広く出資を募る予定です。現在、住友化学株式会社なども出資への検討を進めています。



「株式会社アールプラスジャパン」社名ロゴ

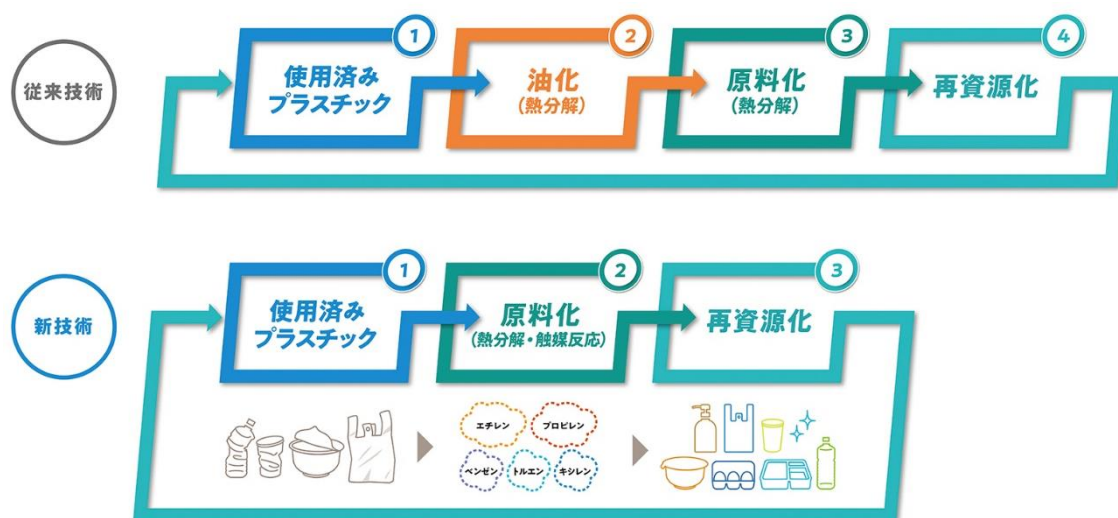
■ 使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼(※1)されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料(※2)(ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど)に戻すケミカルリサイクル(※3)の技術です。従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO₂排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー(熱利用)を含む

※2 重合に使われる単量体。原料がつながり高分子となったものがポリマー(ポリエチレンなど)

※3 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



使用済みプラスチックの再資源化技術のフロー図

今回設立したアールプラスジャパンは、アネロテック社とともに、この環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、原料製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

■ 株式会社アールプラスジャパンについて

会社名	株式会社アールプラスジャパン
事業開始	2020年6月5日
本社所在地	東京都港区台場2-3-3
代表取締役社長	横井 恒彦
事業内容	使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

■ アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

■ 凸版印刷のサステナビリティへの取り組み

凸版印刷は、サステナブルな社会づくりに貢献するために社会的価値創造企業になることを目指し、社会や地球環境と調和しながら事業活動を行っています。2019年11月に公表した「TOPPAN SDGs STATEMENT」では、SDGsへの取り組み強化を明記。その中で、凸版印刷が特に注力すべき「事業活動マテリアリティ(重要課題)」として「サステナブルな地球環境」を選定し、事業活動を通じた地球環境の保全に貢献することを宣言しています。製品包装分野においても、原材料の調達、製造、使用、廃棄・リサイクルまでの製品ライフサイクル全体での環境負荷低減に貢献する「トッパンサステナブルパッケージソリューション」など、持続可能な地球環境に貢献する製品・サービスを提供しています。

このたび本事業に参画し、使用済みプラスチックの再資源活用という社会課題の解決を通じて、持続可能な

社会の実現に貢献します。

TOPPAN SDGs STATEMENT のリンク

https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/toppan_sdgs_statement.pdf

- * 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上